

世界のデング熱流行状況(更新 15)

2010年7月5日 ProMED 情報

(1)ドミニカ共和国[Google.com]

7月1日、同国は死亡患者18名を含むデング熱患者4,089名を報告しました。4,089名のうちデング出血熱患者が600名でした。患者数の最も多いのは、北部のサンティアゴ市で死亡患者7名(そのうち6名は子供)を含むデング熱患者800名が報告されました。

(2)フランス領ギアナ[Institut Veille Sanitaire,Synthesis Epidemiolo,Point Epidemiologique No.12]

通院患者数は疫学週第22週では123名で、2009年の第53週以後の患者数は累計6,300名になりました。また、昨年第53週以降、死亡患者1名で、33名が重症、155名が入院しました。血清型は、主に4型で、1型と2型も流行しています。

(3)コロンビア[EI InforMador]

社会福祉省は、デング熱患者発生数がラ・グアヒラ La Guajira 県を含む18県で有意に減少したと報告しました。週ごとのデング熱患者数の平均は5,000名から3,000名に減少しました。死亡率は1.4%で、世界保健機関による予想の2.5%より低いです。

(4)マルティニーク島[[Institut Veille Sanitaire,Synthesis Epidemiolo,Point Epidemiologique No.12]

疫学週第22週と23週でのデング熱疑い患者数は1,336名増加し、累計で5,300名となりました。6月22日以後、デング熱入院患者は43名で、死亡患者2名が報告されました。血清型は1型が60%、4型が40%です。

(5)タイ(全国)[The ASTV Manager Online]

保健省によると、2010年1月～6月26日まで、同国で患者26,185名と死亡患者30名でした。ナコンラチャシマ県 Nakhon Ratchasima(患者948名と死亡患者1名)、スリン県 Surin(患者849名)、ブリラム Buri Ram 県(患者532名と死亡患者1名)チャイヤプーム県 Chaiyaphum(患者214名)から成る第14公衆衛生地域では、デング熱患者2,543名と死亡患者2名が報告されました。

(6)タイ(全国、特に中部)[The Nation]

保健省によると、デング熱患者は中央部が最も多く9,823名、次いで南部で6,976名、東北部で6,579名、北部で2,807名報告されました。患者の年齢層は、15～24歳が最も多く、続いて5～9歳と10～14歳でした。

(7)タイ(マハーサラカム Maha Sarakham 県)[The ASTV Manager Online]

同県ではデング熱患者117名が治療を受けました。患者数が最も多く報告されているのは Muang 郡で61名、次いで Kantharawichai 郡21名、Phayakkhaphum Phisai 郡8名でした。

(8)タイ(ヤラ Yala 県)[National News Bureau of Thailand]

同県ではデング熱患者が約400名発生しました。患者は Muang 郡が最も多く、他に Betong 郡と Yaha 郡でも発生しています。Tharnto 郡の患者1名が病院で死亡しました。デング熱患者の年齢は15～25歳です。

(9)マレーシア[Yahoo News]

6月29日、デング熱死亡患者80名が報告されました。昨年同時62名と比較して増加しています。2010年はデング熱患者23,626名が発生していますが、2009年は24,817名でした。

(10)ミャンマー[People's Daily Online]

1～5月にデング熱患者910名と死亡患者6名が報告されました。6月に雨期が始まり、1週間に患者88名が発生し、発生率が上昇しています。

昨年は患者3,129名と死亡患者37名が報告されました。

(11)マヨット島[[Institut Veille Sanitaire, Point Epidemiologique No.46]

6月23日、マヨット中央病院(CHM)において、666名について検査を行なったところ、デング熱患者49名が確定診断されました。患者は全島に分布しています。最初の集団発生が郊外の Passamainty で発生しました。また、患者2名と疑い患者1名の小さな集団が Mtsangamouji で発生しました。